

2015.10

佐久市生涯活躍のまち構想(案)

～佐久市の特性を生かし、地域の病院を中心とした～

“医療連携・健康づくり推進型生涯活躍のまち”



臼田地区から見た佐久平



佐久平駅周辺から望む浅間山



長野県 佐久市

佐久市生涯活躍のまち構想 もくじ

- 1 国が示す地方創生の流れ・・・・・・・・・・ 1
- 2 国の生涯活躍のまち構想・・・・・・・・・・ 1
- 3 佐久市の生涯活躍のまち構想・・・・・・・・・・ 1
 - (1) 佐久市の人口動態
 - (2) 「生涯活躍のまち構想」の導入
- 4 佐久市の持つ地域特性・・・・・・・・・・ 2
 - (1) 「世界最高健康都市構想」の推進
 - (2) 医療・介護環境の充実、地域保健予防活動の取組み
 - (3) 良好な自然環境
 - (4) 高速交通網の結節点
 - (5) 移住推進施策の積極的な取組み
 - (6) 盛んな地域活動
 - (7) 健康長寿のまち
- 5 佐久市生涯活躍のまち構想の可能性・・・・・・・・ 5
 - (1) 「佐久市生涯活躍のまち構想」推進の背景
 - (2) 「佐久市生涯活躍のまち構想」の効果
- 6 佐久市生涯活躍のまち構想の方向性・・・・・・・・ 6
 - (1) 「佐久市生涯活躍のまち構想」のビジョン
 - (2) 「佐久市生涯活躍のまち構想」のコンセプト
 - (3) 「佐久市生涯活躍のまち構想」の形態
 - (4) モデルとなる2つの地区の特徴
- 7 佐久市C C R C構想の実現イメージ・・・・・・・・ 9
 - (1) 移住者に対する一体的なサービス提供
 - (2) 移住前（東京圏）の対応

8	各主体の役割等	12
	(1) 国	
	(2) 長野県	
	(3) 佐久市	
	(4) 事業主体（運営推進法人）【民間事業者】	
	(5) 移住者	
	(6) 地元	
9	事業化のプロセス	14
	(1) 佐久市における構想・計画の策定	
	(2) 事業化に向けての取組み	
	(3) 事業の開始（入居開始）	
10	その他	15
	参考資料	16

1 国が示す地方創生の流れ

国では、「まち・ひと・しごと創生法」を昨年11月に公布し、将来にわたり活力ある日本社会を維持していくため、「人口減少の歯止め」、「東京一極集中の是正」の必要性を示した。

また、内閣総理大臣を本部長とする「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、国・地方における総合戦略の策定が規定され、「人口減少克服」と「地方創生」をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指している。

2 国の生涯活躍のまち構想

「生涯活躍のまち構想」は、東京圏をはじめとする大都市に住む高齢者が、健康な段階から希望に応じ地方に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、継続的ケア体制も確保された地域づくりを目指すものである。このことにより高齢者の希望実現、地方への人の流れの推進、東京圏の高齢化問題への対応を図るものである。

従来の高齢者施設等は、要介護状態になってからの入所・入居が通例であるのに対して、「生涯活躍のまち構想」では、高齢者は健康な段階から入居し、できる限り健康長寿を目指すことを基本としている。サービスの受け手として「受け身的な存在」であった高齢者が、仕事や社会活動、生涯学習などの活動に積極的に参加する「主体的な存在」として位置付けられている。

3 佐久市の生涯活躍のまち構想

(1) 佐久市の人口動態

本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した方法によると、平成22年(2010年)をピークに減少に転じ、平成52年(2040年)には85,000人程度に減少すると推計されている。

また、国が進める地方創生の基本的な考え方として、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」負のスパイ

ラル（悪循環の連鎖）を断ち切ることがある。

本市は、人口減少に対する様々な施策や地域の活性化策を講じることに
より、持続可能で、住民が自分の住む地域に誇りを持てるよう、まちづく
りを進めていく。

（2）「生涯活躍のまち構想」の導入

東京都在住者のうち、50代男性の半数以上、また、50代女性及び60
代の約3割が地方への移住の意向を示している。人口減少と地域経済の縮
小による悪循環を断ち切るには、佐久市に「しごと」をつくり、「しごと」
が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するこ
とが必要である。

佐久市への新たな人の流れを生み出すこと、その好循環を支える「まち」
に活力を取り戻し、本市に住む全ての人々が安心して生活を営み、子ども
を生み育てられる社会をつくり出すことが急務である。

本市は、これまでも移住推進施策を積極的に取組んでおり、また、医療・
介護に強みを持っているという本事業を推進するのに適した素地を有し
ている。本事業に積極的に取組むことにより、移住者の獲得を目指し住民
が主体性と自主性を持ち、当事者として自ら行動するなど元気で活力のあ
るコミュニティの形成を図る。

4 佐久市の持つ地域特性

本市は、「世界最高健康都市」構想を掲げ、健康づくりに係る施策に力を
入れるとともに、移住推進においても、他の自治体に先駆けて様々な支援施
策に取り組んできたことなどから、本事業の実施に適した素地があると考えて
いる。

（1）「世界最高健康都市構想」の推進

佐久市は、農村医療の発祥の地、そして
「健康で長生きの高齢者が多いまち」とし
て全国的に知られている。

健康長寿のまちとしての高い評価を維
持し、さらに伸ばしていくことは、現在



健康長寿な高齢者

と将来を担う私たちの願いである。

本市は、市民が胸を張って誇れる「世界最高健康都市・佐久」を目指し、今日より明日、明日より未来がもっと健康になるような様々な取り組みを積極的に推進している。

市民の健康づくり推進に力を入れた施策を実施する中で、身体のみならず、心の健康（幸福感）についても追求している。

（２）医療・介護環境の充実、地域保健予防活動の取組み

昭和46年の保健指導員制度発足以来、地域と一体となった保健予防活動が盛んであり、医療と介護の連携強化にも努めている。市内には高度医療を担う医療センターを始め、2つの総合病院と7つの病院、61の一般診療所、54の歯科診療所があり、病病連携や病診連携などにより充実した地域医療を展開している。また佐久大学看護学部、信州短期大学部介護福祉学科、佐久総合病院看護専門学校において地域の医療を支える若者を育てている。



浅間総合病院



佐久総合病院 本院

（３）良好な自然環境

日照時間が全国トップクラスで晴天日が多く、澄み切った美しい空が広がる。浅間山、八ヶ岳、そして、蓼科山などの雄大な山並み、広大な田園風景、そして千曲川の清流をはじめ、人々の心を癒す豊かな自然、おいしい水、澄んだ空気に囲まれている。



千曲川から望む浅間山

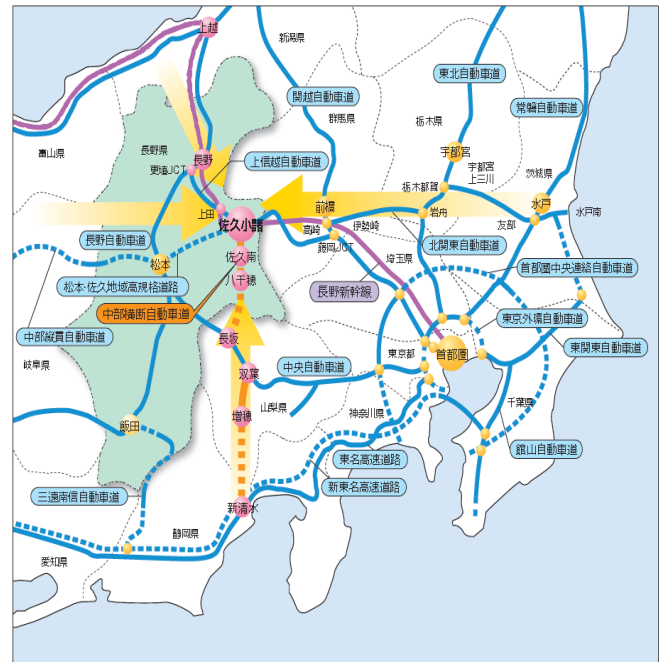
また、自然災害という面においては、活断層が発見されておらず、災害は少ない土地柄であり、環境を守るため水資源の保全に関しても、積極的に取り組んでいる。

(4) 高速交通網の結節点

佐久平～東京間を約70分、金沢間を約120分で結ぶ北陸新幹線や、首都圏へ110分、日本海へ90分という上信越自動車道、さらに現在、佐久～静岡間を120分で結ぶ中部横断自動車道の整備が進み、人・モノ・文化が集う文化交流都市として期待が高まっている。

なお、本市は市内6ヶ所（開設予定を含む）にインターチェンジを有する特異な自治体である。

平成24年の商圈人口は、長野県内第3位であり、吸引力係数では、県内第1位となっている（長野県商圈調査報告書）。



(5) 移住推進施策の積極的な取り組み

充実した空き家バンク「おいでなんし！佐久」は、成約数日本一にもなっている。また、空き店舗、空き工場の情報についても紹介している。

平成25年度からは、全国初の取り組みとして、JR東日本・長野県・本市が連携し、「大人の休日倶楽部」とのタイアップによる移住推進事業（「大人の住まいプラン」、「移住体験ツアー」）を実施している。

さらに、平成26年度からは「移住体験住宅」の運用を開始し、「お試し居住」が可能になるとともに、「移住促進サポートプラン」で移住に伴う住宅取得費や新幹線通勤費などを支援している。

(6) 盛んな地域活動

生涯学習や公民館活動など、年間300を超える講座・学級が開催され、多くの高齢者が賑やかに受講している。

本市では、地域公民館における先駆的な事業の実施、また、各地域の公民館が地区公民館との連携もしており、活発に活動が行われている。

また、各地域には、特有の伝統芸能や文化があり、その継承に努めている。

この他にも、学校給食への地元食材の供給により、佐久市の地産地消と

食育を推進することを目的とした「学校給食応援団」において、地元農家が生産した農作物を直接、学校給食に提供する体制づくりなども進めている。

さらに、市民活動をサポートする拠点として、「市民活動サポートセンター」を設置し、市民の自発的な活動の支援を行っている。

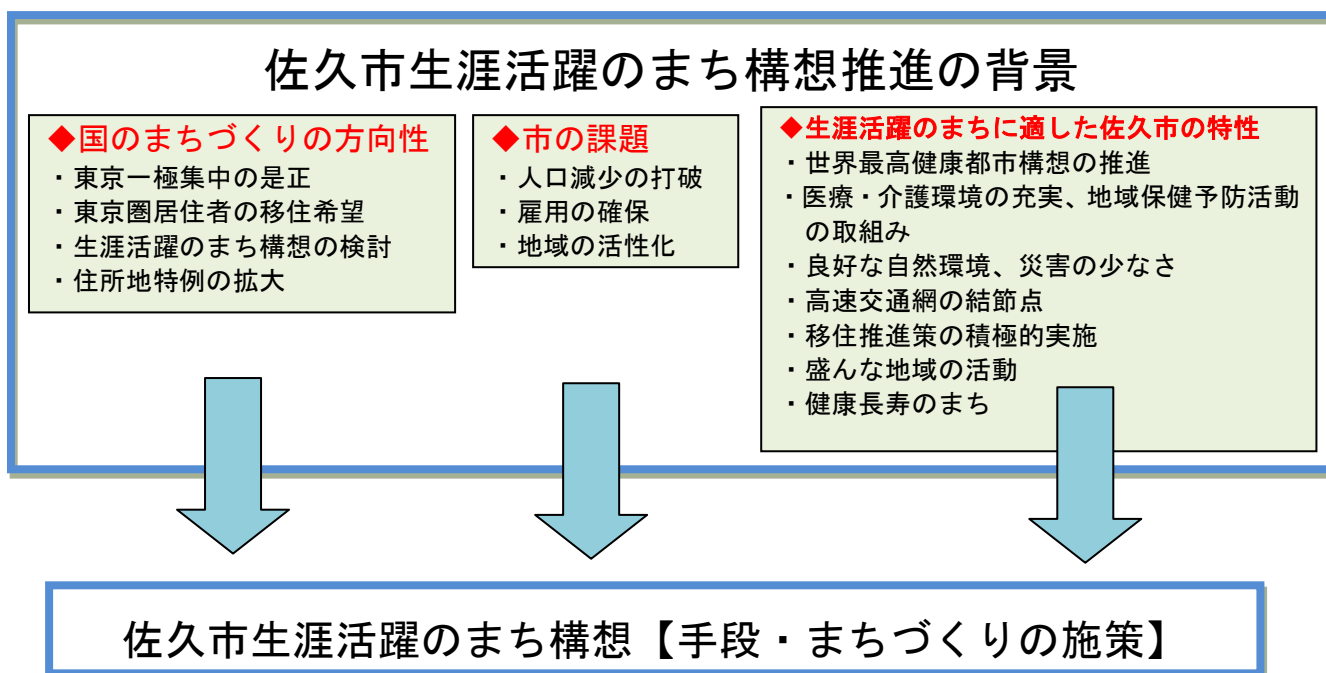
(7) 健康長寿のまち

本市は、減塩啓発や食育の推進などの積極的な実施により、高齢者の就業率が高く、一人あたりの医療費が低いことから、健康で生き生きと暮らせる「健康長寿」が大きな特徴である。ぴんころ地蔵に象徴される「健康長寿のまち」として全国から注目を集めている。

5 佐久市生涯活躍のまち構想の可能性

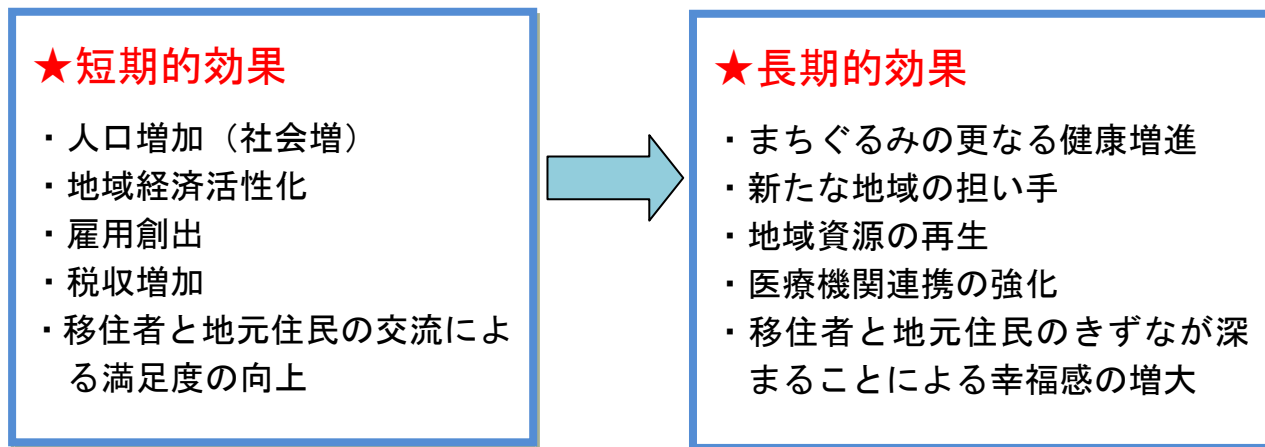
(1) 「佐久市生涯活躍のまち構想」推進の背景

佐久市は、人口減少の打破、地域の活性化などの課題を解決するため、本市の持つ地域特性を生かした「佐久市生涯活躍のまち構想」の実現を目指す。



(2) 「佐久市生涯活躍のまち構想」の効果

本市において、「佐久市生涯活躍のまち構想」を実現することは、人口増加や地域活性化、雇用の創出などに寄与するものである。



6 佐久市生涯活躍のまち構想の方向性

(1) 「佐久市生涯活躍のまち構想」のビジョン

東京圏をはじめとする大都市に住む高齢者が、健康な段階から、希望に応じて本市に移り住み、移住した地域で地域社会に溶け込み、多世代と交流しながら、健康でアクティブな生活を送ることを目指す。

これにより、地域の活性化を図るとともに、移住者・地域住民のきずなが深まることにより幸福感の増大を図る。

(2) 「佐久市生涯活躍のまち構想」のコンセプト

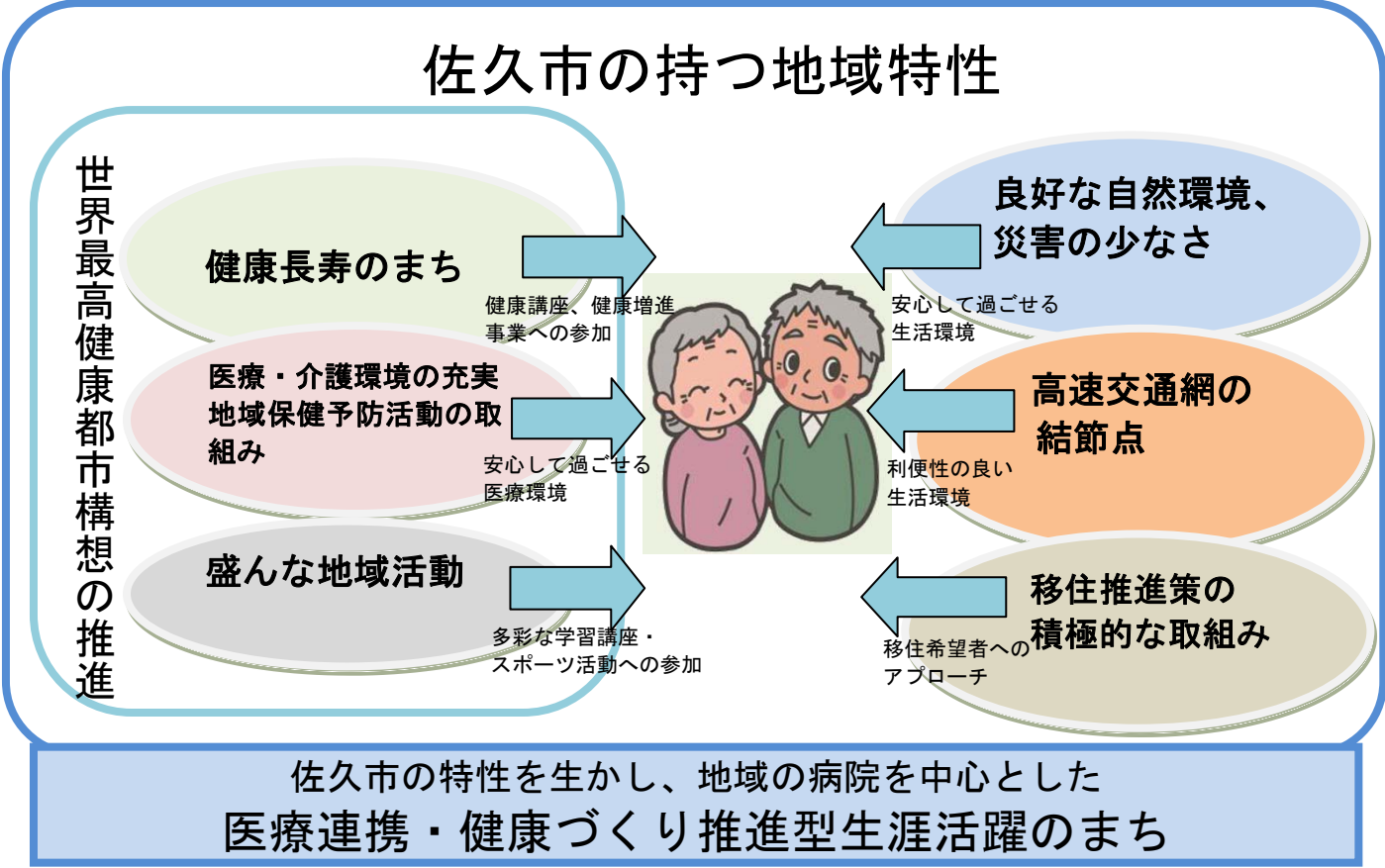
本市は、これまでも「自分の健康は自分でつくる」ということを理念に、地域と一体となった保健予防活動により、充実した地域医療を展開し、「世界最高健康都市」構想の実現に努めてきた。

また、安心して暮らすためのセーフティネットとして、医療・介護環境が整っていることも重要であり、まちづくりの重要な施策として、病院とも連携して取組んでいる。

今後も、健康づくりに積極的に取組むことにより、市民が住み慣れた場所において、安心して自分らしい生活が継続できる地域づくりを目指していく。本事業における移住者も、この枠組みの中に加え、共に健康づくりの推進に取り組んでいく。

このため、「佐久市生涯活躍のまち構想」のコンセプトは、下記のとおりとする。

～佐久市の特性を生かし、地域の病院を中心とした～
“医療連携・健康づくり推進型生涯活躍のまち”



(3) 「佐久市生涯活躍のまち構想」の形態

①入居者の住替え形態

入居者の住替え形態とすると、これまでの移住推進施策を生かして、大都市からの移住を想定している。

②入居者の所得等

幅広い対象者とするため、厚生年金受給程度の一般的な所得の退職者を想定している。

③地域的広がり

市全域を一つの括りとはせず、市域の各地域の特性を考慮し、エリア型を想定している。

④形態

地区の特徴をより具体的に発信し、移住者の選択の幅を広げ、事業展開する際の優位性として生かすため、「都市型」と「農村型」の2形態を設ける。

入居者の住替え形態			大都市からの移住者 【これまでの移住施策を生かす】
入居者の所得等			一般的な退職者（厚生年金受給程度） 【幅広い対象者を想定】
地域的広がり			エリア型【地域特性を考慮】
形態	【利便性重視】 都市型	佐久平駅周辺地区等	佐久平駅周辺など交通の利便性が高い市街地周辺における「街中のサ高住」を想定している。 大学や商業施設、公共施設等に近い地域で、これまでの経験を生かした軽就業やボランティア、学習講座や趣味のサークルなどの生きがいを持って生活することを想定している。
	【生きがい重視】 農村型	白田地区等	山沿いや農村など、「自然豊かな地域の中におけるサ高住」を想定している。 農業や地域活動への参加など地域に溶け込み、積極的で創造的な健康を目指すとともに、地域住民とふれあい、きずなを深め、生きがい豊かな生活を想定している。

(4) モデルとなる2つの地区の特徴

①佐久平駅周辺地区

浅間総合病院との連携により、都市機能が集約している佐久平駅周辺で新たなまちづくりを挑戦する。

②臼田地区

佐久総合病院との連携により、自然に囲まれた生きがい豊かな臼田地区での事業展開を図る。

※事業展開する地区の状況に合わせ、具体的な内容を検討することとする。



7 佐久市生涯活躍のまち構想の実現イメージ

(1) 移住者に対する一体的なサービス提供

①「健康でアクティブな生活」を支援するためのプログラム提供

生涯学習や公民館活動が盛んな地域柄を生かすとともに、大学とも連携することにより、高齢者の希望に応じて、健康づくりや就労、社会活

動、生涯学習への参加等によって健康でアクティブに生活することを目指すための「目標志向型」のプランを策定し、各種のプログラムを提供する。移住者自身が講師となることも考えられる。

②「継続的なケア」の提供

浅間総合病院、佐久総合病院本院と連携するなど、医療介護が必要となった時に、人生の最終段階まで尊厳ある生活が送れる「継続的なケア」の体制を地域の医療機関等と連携して確保する。要介護状態等になった場合には、移住者の希望に応じて当該事業地内部または地域の介護事業者からの介護サービス提供を確保する。重度になっても地域に居住しつつ介護サービスを受けることを基本とする。

③地域社会（多世代）との交流・協働

移住者が地域社会に溶け込み、子どもや若者など多世代と交流・協働や地域貢献できる環境を実現するため、地域住民や多世代が交流できる地域拠点を整備する。

また、移住者に、地元住民とともに、地域の伝統芸能や文化などの担い手となり、地域資源の継承に積極的に取組んでもらうようにする。

④移住者の生活等の全般を管理・調整する「運営推進機能」の整備

移住者の日常生活・ケア・地域交流など生活全般の管理・調整・プログラム開発を担う「運営推進機能」は、「佐久市生涯活躍のまち構想」において、最も重要である。十分な機能を備えるとともに、その機能を最大限発揮できるようコーディネーターを配置する。配置したコーディネーターにより、地域のニーズや移住者のニーズ・生活状態を把握し、適切な支援を行い、生活全般に渡ってプロデュース（コーディネート）を行う。

⑤移住希望者に対する支援

「移住体験ツアー」、また「移住体験住宅」によるコミュニティでの生活実態や地域社会の実情を体験する「お試し居住」や、「移住促進サポートプラン」など、移住推進につながる施策を積極的に行う。

⑥移住希望の意思確認

移住者は、本構想を理解した上で、入居希望の意思が明確な者とする。

⑦自立した生活ができる居住環境

移住者が、健康な時から人生の最終段階まで安心して自立した生活を送れるような居住環境を提供するとともに、これまでの人生の継続とプライバシー保護のため、共同生活と個人生活のバランスが取れた生活環境を確保する。

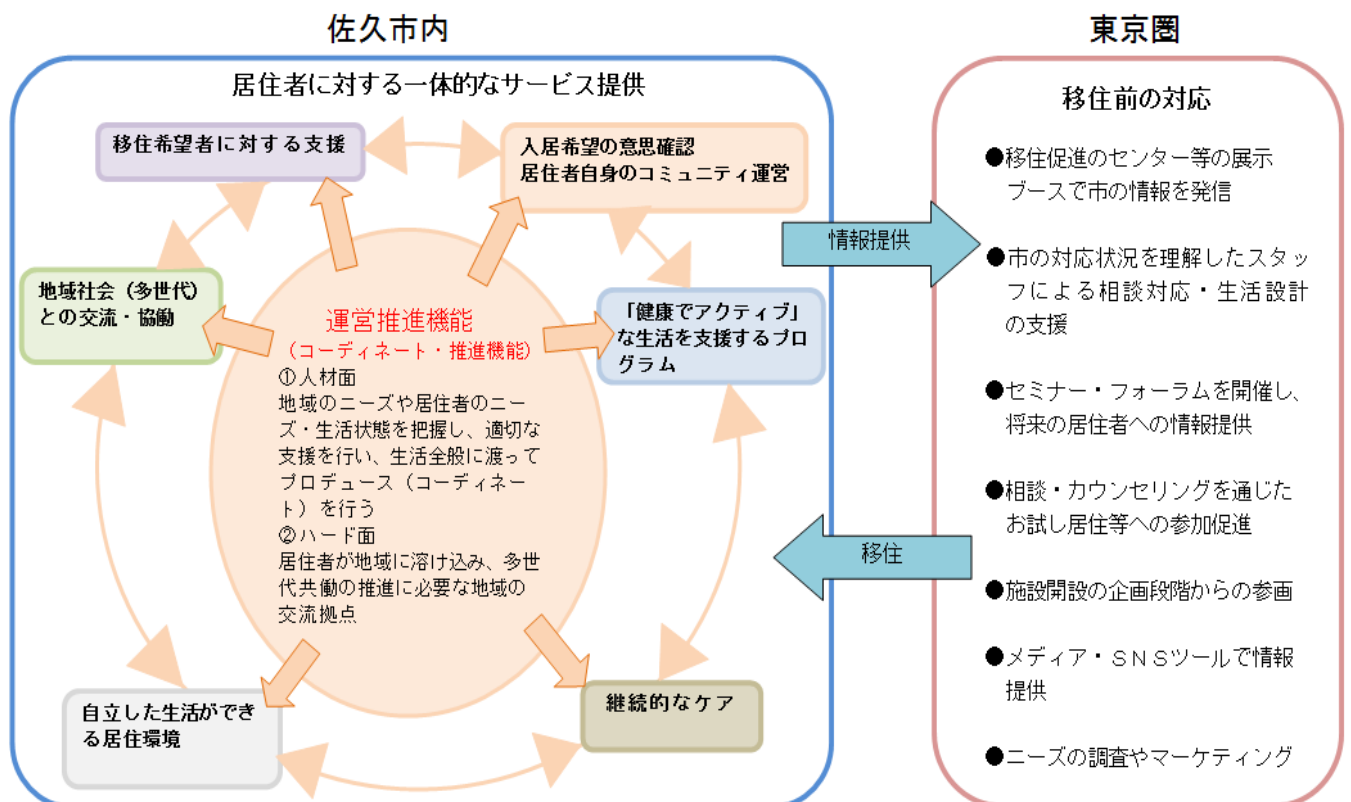
(2) 移住前（東京圏）の対応

①東京駐在の移住交流推進員による移住相談窓口を開設、また、市内の空き家を現地に赴き紹介する移住交流推進員を配置し、移住希望者に対して情報提供・事前相談・意見聴取・マッチングを行う。

②施設開設の企画段階から移住希望者に参画してもらい、意見を反映する。

③移住希望者のニーズの把握などのマーケティングを行う。

構想の実現イメージ



8 各主体の役割等

事業実施に当たっては、移住者や地元などの意見集約をボトムアップにより行い、地元・移住者、事業主体、本市が連携し、本構想を共有しながら進めることとする。

(1) 国

生涯活躍のまち構想に関する基本方針を策定するとともに、地方公共団体の取組みに対する政策支援（法制度整備、財政支援など）を実施する。

- ①基本方針の策定
- ②地方公共団体の基本計画の確認・調整
- ③地方公共団体への制度面や財政面などの支援

(2) 長野県

県内における「生涯活躍のまち構想」の推進。地方公共団体の取組みに対する財政支援を期待する。

(3) 佐久市

地域の特性や強みを生かして具体的な構想を検討し、基本計画を策定する。事業主体や地域関係者と協働して、構想を推進する。事業化後も、事業主体等に対する多様な支援を実施する。

- ①生涯活躍のまちに係る基本計画の策定
- ②事業主体（運営推進法人）の選定
- ③運営推進法人に対する指導・監督・支援
- ④地元への説明、地元の意識を高める
- ⑤事業全般の後押し
- ⑥セーフティネットとして医療・介護体制の整備を進める

(4) 事業主体（運営推進法人）【民間事業者】

基本計画を踏まえ事業計画を策定する。事業化後は、本市をはじめ、関係者と協働して、コミュニティ運営を推進する。

- ①事業計画の作成
- ②関係事業主体との連絡調整
- ③地元への説明

- ④コミュニティづくり
- ⑤コーディネーターの配置

(5) 移住者

健康で活動的に社会活動、生涯学習に参加することが考えられ、地域社会に溶け込んだ多世代との交流を積極的に行う。また、これまでの経験を生かした生涯学習の講師や起業も想定される。

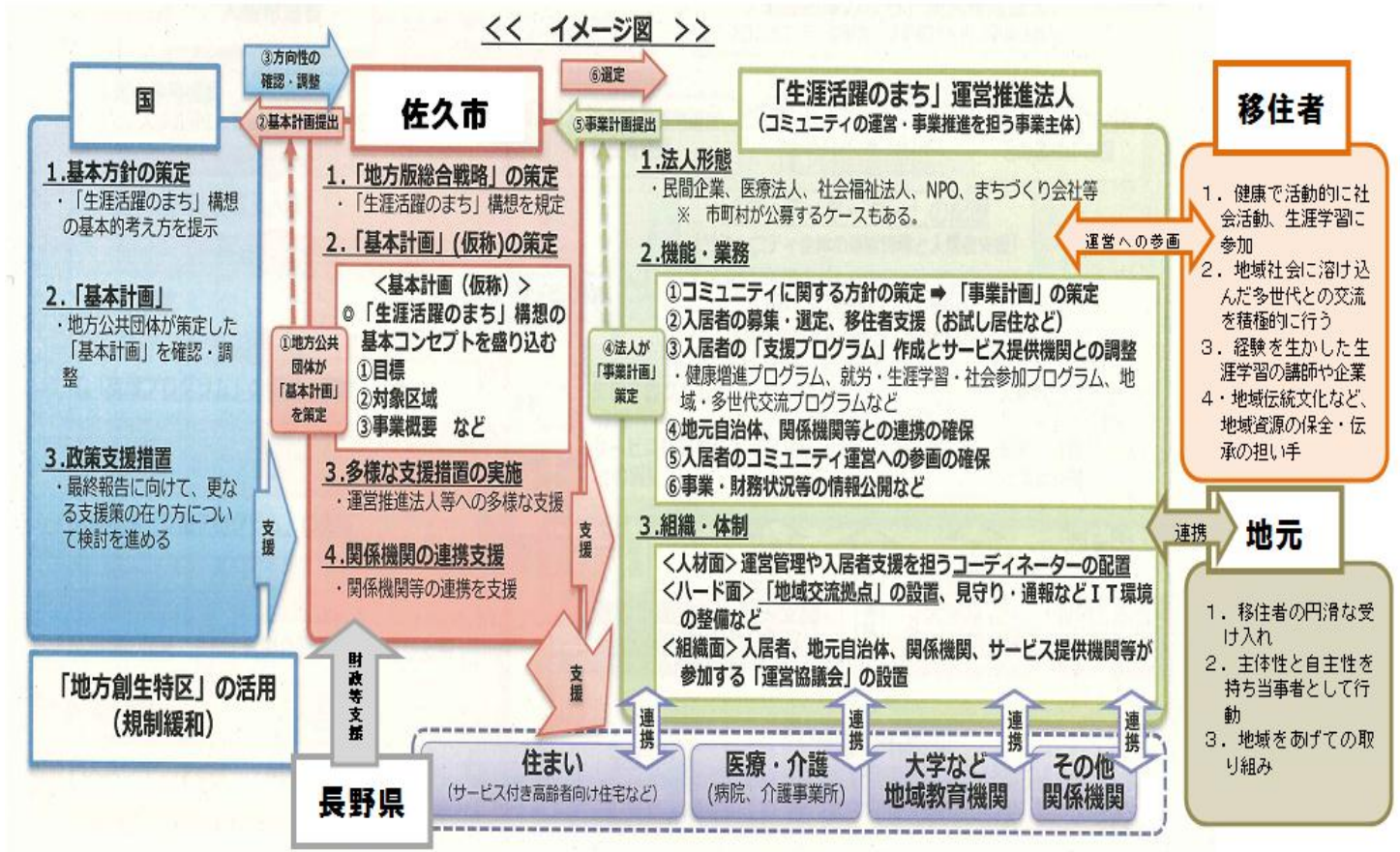
さらに、地域の伝統文化・芸能の伝承者になってもらうなど、地域資源の保全・伝承の担い手としても期待される。

(6) 地元

移住者の円滑な受入れなど、住民が主体性と自主性を持ち、当事者として自ら行動し、地域をあげての取り組みを実施する。

役割分担

<< イメージ図 >>



9 事業化のプロセス

(1) 佐久市における構想・計画の策定

- ① 検討組織の設置
- ② 構想のとりまとめ
- ③ 事業区域にて地元検討組織の立上げ
- ④ 事業区域や事業主体の条件を含む基本計画の策定

(2) 事業化に向けての取組み

- ① 市が事業主体の選定
- ② 事業主体が事業計画の策定
- ③ 事業主体が入居者募集

(3) 事業の開始（入居開始）

1 市における構想・計画の策定

- ① 検討組織の設置（佐久市CCRC検討会）
・官民検討会議の設置（大学・事業者・経済等の有識者）
- ② 構想のとりまとめ
・コンセプトを固め、構想案をとりまとめ
・構想のとりまとめ⇒「地方版総合戦略」に盛り込む
- ③ 実施エリアにて地元検討組織の立ち上げ
- ④ 「基本計画」の策定
・対象地域、事業主体の条件等

2 事業化に向けての取組み

- ① 事業主体の選定
- ② 「事業計画」の策定
・事業主体における施設や人材、資金の確保、事業内容の検討
・事業主体による「事業計画」の策定
- ③ 入居者募集
・入居者募集、希望者に対する事前説明、意見聴取など行う

3 事業の開始（入居開始）

10 その他

- ①佐久市において生涯活躍のまちを展開するに当たっては、「生涯活躍のまち構想（中間報告）」を基本とし、本構想に定めていない事項については、事業区域ごとに設定することとする。
- ②事業区域ごとに特徴を明確するため愛称等を検討する。
- ③「冬期間の寒さ」、「市内公共交通の状況」などの佐久市の状況を、移住者に把握・理解してもらうための情報提供を行う。
- ④空き家屋や未利用建物などを地域資源として活用できるか検討を行う。

参考資料

世界最高健康都市構想・・・・・・・・・・・・・・ 17

佐久市の医療・介護に係る取組み・・・・・・・・ 18

佐久市の水資源保全に対する取組み・・・・・・・・ 19

佐久市移住推進の取組み・優位性・・・・・・・・ 20

佐久市における市民活動・・・・・・・・・・・・ 21

佐久市の文化・伝統芸能等・・・・・・・・・・・・ 22



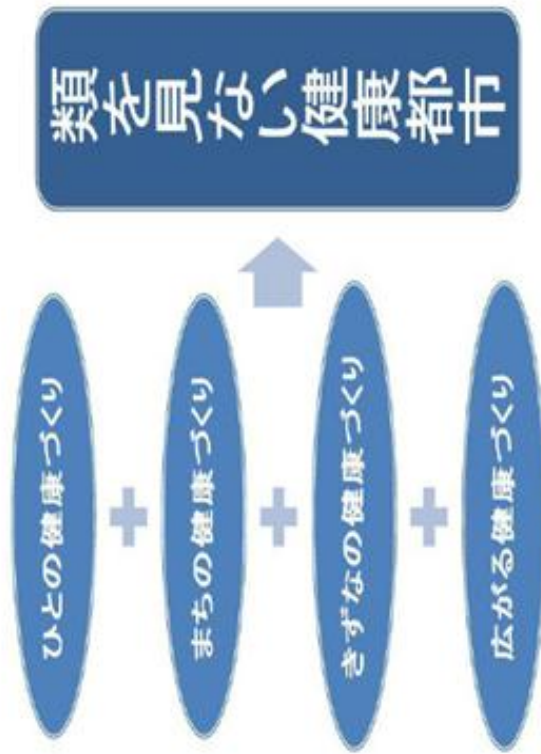
中部横断自動車道

世界最高健康都市構想

目指す「健康な都市」とは、主体である市民を中心に、市民を取り巻く家族・職場・地域の人々との繋がりがりや関係が健全であり、個々を取り巻くまちなかの環境も健やかである都市

健康の協奏

～ みんなで奏でる健康のシンフォニー ～

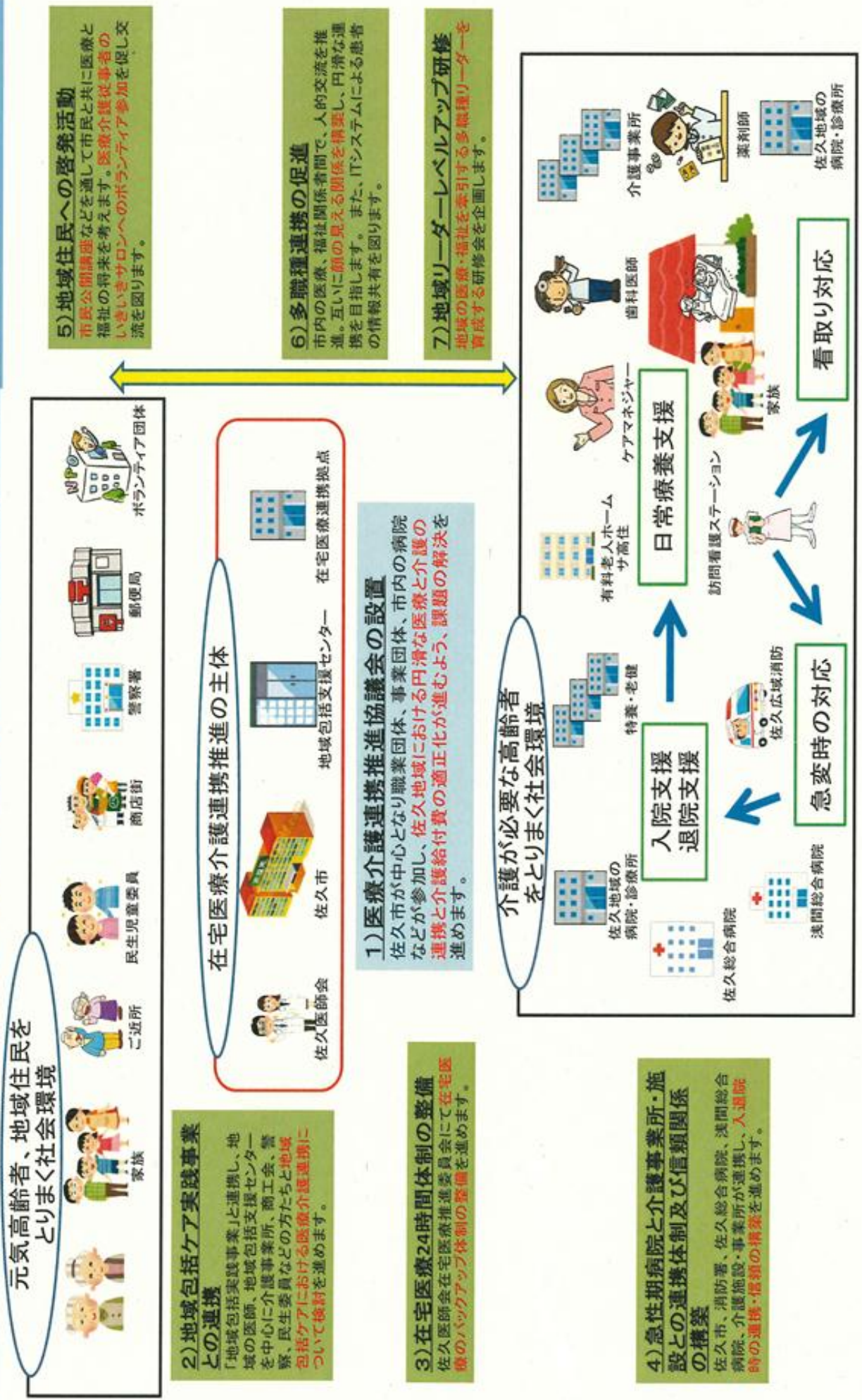


リーディングプロジェクト			
市民の健康づくりサポートプロジェクト	地域完結型医療構築プロジェクト	健やか佐久っ子プロジェクト	健康産業・交流推進プロジェクト
市民一人ひとりの健康づくりのサポート体制を構築	地域で医療が提供される体制の構築と支援	安心して産み、健やかに育つ環境を充実	医療・健康関連産業の創出と交流を推進
<ul style="list-style-type: none"> 保健活動の評価と地域診断の実施 新しい視点での保健活動の展開 食育の推進 自殺防止の充実 気候に運動できる施設とサポート体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 民間総合病院の施設整備 佐久総合病院の再構築の支援 病棟連携、病診連携の推進 医療機関連携等の周知と情報共有の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 周産期医療等の更なる充実 母子保健に関する分野間の連携強化と事業充実 口腔ケアの周知と啓発 食育の展開 保育所等の整備 子育て支援ネットワークの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな産業創出等による佐久メディカルパレーの構築 環境、健康を活用した体験型観光の推進 医療や健康に著目した交流の創出

「世界最高健康都市の構築」の実現に向け、市民の皆さんが感じている住みやすさ感・健康感・幸福感に関する意識を伺うことを目的としてアンケート調査を実施しています。住みやすさ感・健康感・幸福感について定期的に把握する中で、世界最高健康都市の構築を推進していきます。

佐久市の医療・介護に係る取り組み

佐久市在宅医療・介護の連携体制推進事業の概要



佐久市の水資源保全に対する取り組み

水資源保全サミット

地域の水は地域で守る

～豊かで清らかな水を守り、育むため、私たちがすべきこと～

平成25年10月5日(土) 13:00～17:30
長野県佐久勤労者福祉センターホール



主催：水資源保全サミット実行委員会

構成団体：小諸市、佐久市、東御市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町、軽井沢町、御代田町、立科町、佐久水道企業団、浅瀬水道企業団

平成25年10月6日 信濃毎日新聞

佐久で県内外31自治体がサミット



地下水保全に向けた共同宣言を採択し、理士で内容を構築する関係自治体の理事ら

地下水保全で共同宣言

ネットワーク構築掲げる

共同宣言は、外国資本による水源地買収とみられる動きが全国で顕著化する中、地下水を次代に引き継ぎ環境つくりが求められていると指摘。地下水を守りながら資源として活用することも地域に合った例などの紹介と、地下水調査の実施などを掲げた。また、こうした取り組みに対する国の支援を求めた。県内では、地下水の取水量制限といった内容の新条例制定を進めてきた実行委の12市町村以外で

は飯山市、北安曇郡松川町、上野原町、木曾町が共同宣言を採択した。パネル討論では、佐久で水資源を使って化粧品を製造している民間企業の倉庫長は、工場敷が国の規制にかかわらず、県には規制が厳格だが、行政は経済活動のバランスをうまく取ってほしいと要望。副議長を務めた野呂宗

例を制定した北海道ニセ町は、片山博昭町長は、理士な規制が地と異なる経済活動を促進する必要がある。自治体の責任を持って取り組むことで国を動かすインパクトにもなる」と述べた。また、県府内の立野野瀬土庄研究員による基礎講演や、お茶の水女子大名誉教授の藤原正彦さんの「日本のこれから、日本人のこれから」と題した特別講演もあった。

市の県外勤労者福祉センター開いた。地下水を地域で守っていくのが、自治体間で連携を共有することで、地下水保全の重要性を全国に発信しようという趣旨。県内外の31自治体が、地下水保全に向けたネットワークつくりなどを掲げた共同宣言を採択した。

県内

佐久市移住推進の取組み・優位性



清らかな水とまばゆい緑がおりなす快適都市。

長野県・佐久市で 自然とともに暮らす愉しさを。

日照時間が全国トップクラスで晴天日が多く、澄み切った美しい空が広がる佐久市。浅間山、蓼科山などの雄大な山並み、広大な田園風景、そして千曲川の清流をはじめ、人々の心を癒やす大自然に囲まれています。やすらぎとうるおいに満ちた街・佐久市で、新たな感動生活を始めてみませんか？

魅力は尽きない、佐久市での暮らし。



1 国内トップレベルの地域医療

佐久市は昭和66年の医療種別制度発足以来、地域と一体になった保健予防活動が実を結び、今日では「健康長寿のまち」として全国から注目を集めています。先進医療設備の整った病院も、また市民1人あなりの医療費も低く、健康で生き生きと暮らせる「健康寿命」の長さも大きな特徴です。



2 農業体験サポートも充実！

先進的な仕向場を整えながら、どこか懐かしいふるさとの風景が残る佐久市では、「田んぼオーナー制度」や「農園体験」や「田んぼ体験」「蕎麦まるごと体験」といった各種農業体験サポートを行っています。作物を自分で育て、収穫し食べることができ、ぜひご体験ください。

移住に関する各種アンケートで
長野県は1位を獲得!!

ふるさと暮らし希望地域 アンケート	1位 長野県	2位 岡山県	3位 福岡県
移住したい都道府県 アンケート	1位 長野県	2位 千葉県	3位 静岡県
空き家バンク物件有効数 アンケート	1位 佐久市(長野県)	2位 横都市(東京都)	3位 安芸太田町(広島県)

2013年2月、厚生労働省の
「移住促進調査」(2010年度)で
長野県は男女ともに全国1位
になりました。

3 宅地・住宅の安定供給を推進 空き家バンクを開設！

人口の増加が進む佐久市では、土地調整課主導による優良な宅地の造成や市営住宅を併設した複合型公共施設の整備、団地の建て替えといった各種事業を進めています。また空き家を有効活用し、地域の活性化を図るべく、空き家バンク「おいでなんし！佐久」を開設しています。これは市内の空き家および売却希望住宅の所有者が登録した登録物件情報を利用希望者へ提供するもので、多くの方々にご利用いただいています。



4 新幹線で東京から約70分。 首都圏へのアクセスがスムーズ

佐久市はアクセスの良さも大きな魅力です。佐久平〜東京間の約70分で結ぶ長野新幹線や、首都圏〜110分・日本海〜90分という上越新幹線・自動車道、さらには現在佐久〜静岡間を120分で結ぶ中部横断自動車道の整備が進められており、人・モノ・文化が乗り交わる都市としての期待が高まっています。



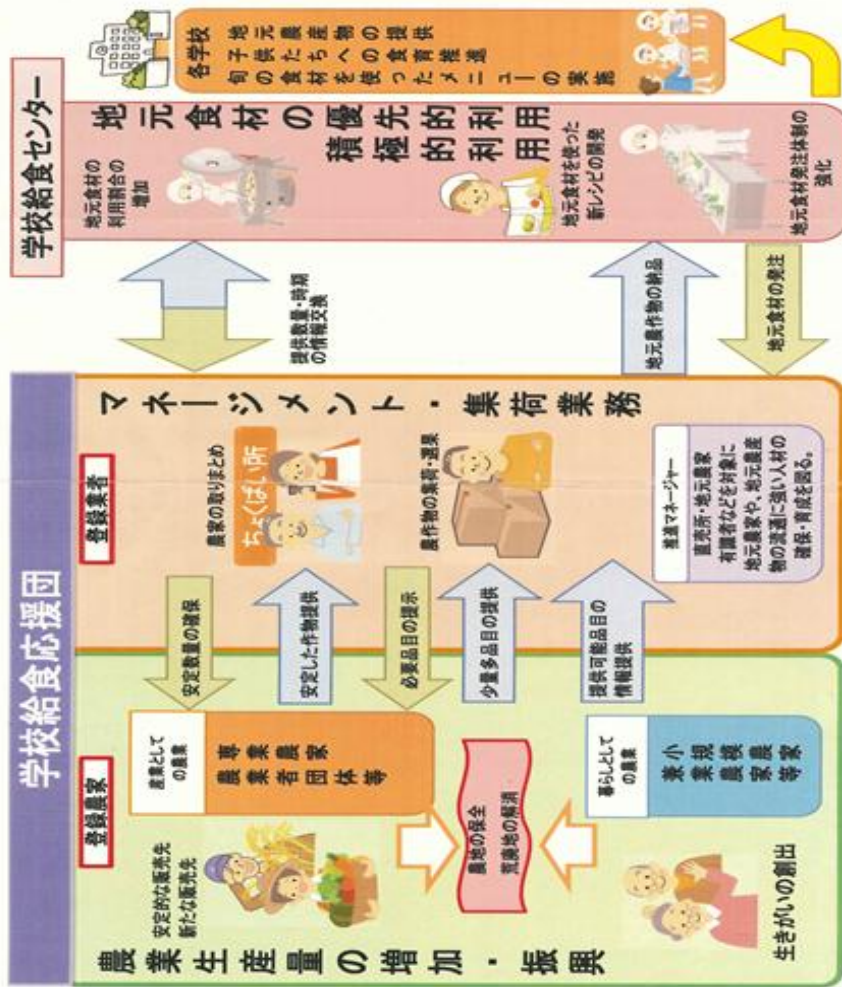
余暇の過ごし方も魅力充実

佐久市には自然に行けるゴルフ場や温泉地、観光名所やグルメスポットが目白押しです。佐久市での暮らしの楽しみを最大限まで堪能してみてください。

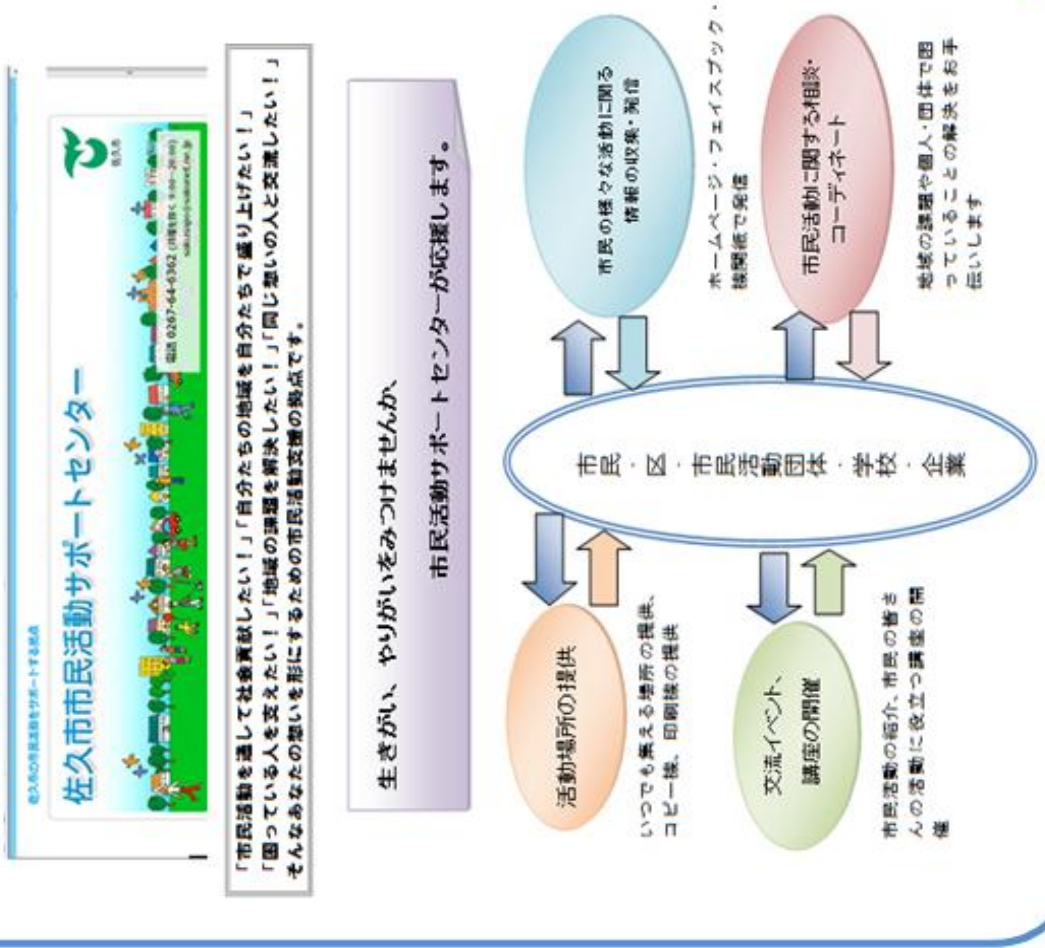


佐久市における市民活動

学校給食応援団による取り組み



市民活動をサポートする拠点



佐久市の文化・伝統芸能等

佐久市では、市民が主体となって、互いに個性を認め合い、学び合う生きがいある社会形成のため、生涯を通じて学習できる環境整備を推進しています。

また、市民一人ひとりが、年齢や体力、技能、嗜好、目的などに応じて日常的にスポーツに気軽に参加できる環境づくりに取り組んでいます。

さらに、地域固有の歴史や伝統・文化については、市民が日常的にふれあい、学ぶことができる環境整備を進め、地域文化の保存・継承に努めています。



市民創縁センター



コスモホール



佐久市立近代美術館



旧中込学校 (国指定 史跡・重要文化財)



龍岡城跡 (五稜郭) (国指定 史跡)



佐久総合運動公園



跡吉の泥唄り念仏 (国指定 重要無形民俗文化財)



望月駒の里草競馬



湯原神社式三番 (県指定 無形民俗文化財)

各地域の祭り



望月 神祭り



岩村田 祇園祭



浅科 上原鳥追い祭り



白田 小満祭